

自分の気持ちを大事にする。他の人を大事にする。
そうできる人になってほしい、なりたい...

保育あり

要事前申込み

斉藤章佳先生と話そう

日時：2024年3月30日（土）13時～15時

会場：上尾市文化センター204 保育101

斉藤章佳先生は、DV やアルコール依存症・性加害の問題を抱えている人の更生に携わる中で、「自分の気持ちを言語化することの大切さ」を伝えています。

パートナーや身近な人との価値観の違いにモヤモヤしたり、言ってもわかってもらえなさそうに感じて、言葉を飲み込んでしまうことはありませんか。

子どもには、この子の可能性いっぱいに育ててほしいと願っているけれど、親としてそう関わっているだろうか。子どもが感じている気持ちを大事にできているだろうか。

斉藤先生と一緒に、私たちが抱えがちになってしまう問題の根っこを探り、どうあったらいいのかを考える座談会を開きます。



著書

「男が痴漢になる理由」 イースト・プレス、2017

「小児性愛という病ーそれは、愛ではない〜」 ブックマン社、2019

「男尊女卑依存症社会」 亜紀書房、2023

「子どもへの性加害ー性的グルーミングとは何か」 幻冬舎新書、2023

「つながりを、取り戻す。」 ブックマン社、2023（共著） 他多数

講師：斉藤章佳（さいとうあきよし）さん
大船榎本クリニック精神保健福祉部長
精神保健福祉士／社会福祉士

1979年滋賀県生まれ。大卒後、アジア最大規模といわれる依存症施設である榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、約20年に渡りアルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニアなど様々なアディクション問題に携わる。その後、2020年4月から現職。

専門は加害者臨床で現在まで2500名以上の性犯罪者の治療に関り、性犯罪加害者の家族支援も含めた包括的な地域トリートメントに関する実践・研究・啓発活動に取り組んでいる。また、都内更生保護施設では長年「酒害・薬害教育プログラム」の講師をつとめている。小中学校では薬物乱用防止教育をはじめ、大学でも早期の依存症教育に積極的に関わっており、全国での講演も含めその活動は幅広くマスコミでも度々取り上げられている。東京都痴漢被害実態把握調査委員、一般社団法人痴漢抑止活動センターアドバイザー。

対象：子育て中の方・斉藤章佳先生の活動に興味のある方ならどなたでも

定員：来場20名+Zoom 費用：無料

保育：あり・1人300円（要事前申込み）

※斉藤先生の講演「パートナーとも子どもともフラットな関係で生きたい 暴力を生み出さない社会に向けてー性加害者の更生から考える」(「こども☆夢☆未来フェスティバル」2024年3月9日(土)開催 主催：認定NPO法人彩の子ネットワーク)の、アーカイブ配信をご覧になりたい方は、お申し込み時にお知らせください。

【お申込み・お問い合わせ】

上尾グラン育自ネットワーク

住所：上尾市本町2-13-8 根貝戸団地1階

電話：048-770-5272 メール：office@sainoko.net